

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成30年度病害虫発生予察防除情報第15号

野菜類のチョウ目害虫の防除対策について

チョウ目害虫のフェロモントラップでの誘殺数が増加しています。今後、被害の増加が予想されますので下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) ハスモンヨトウについて、いちご（本圃）における9月後期の巡回調査（27筆）の結果、株当たり虫数は0.0頭（平年0.0頭）、発生圃場率は59.3%（平年47.9%）であった。ブロッコリーにおける9月後期の巡回調査（12筆）の結果、株当たり虫数は0.2頭（平年0.3頭）、発生圃場率は25.0%（平年34.3%）であった。
- (2) シロイチモジヨトウについて、ブロッコリーにおける9月後期の巡回調査（12筆）の結果、株当たり虫数は0.0頭（平年0.6頭）、発生圃場率は25.0%（平年17.7%）であった。
- (3) オオタバコガについて、いちご（本圃）における9月後期の巡回調査（27筆）の結果、株当たり虫数は0.0頭（平年0.0頭）、発生圃場率は7.4%（平年0.6%）であった。
- (4) フェロモントラップ（諫早市）の誘殺数は、ハスモンヨトウとシロイチモジヨトウは9月4半旬に、オオタバコガは9月5半旬に急増した。（図1，2，3）
- (5) 病害虫防除員の報告によると、ハスモンヨトウのフェロモントラップの誘殺数は県内全ての調査地点（琴海、波佐見、千々石、南有馬）で9月4半旬～5半旬にかけて急増している。

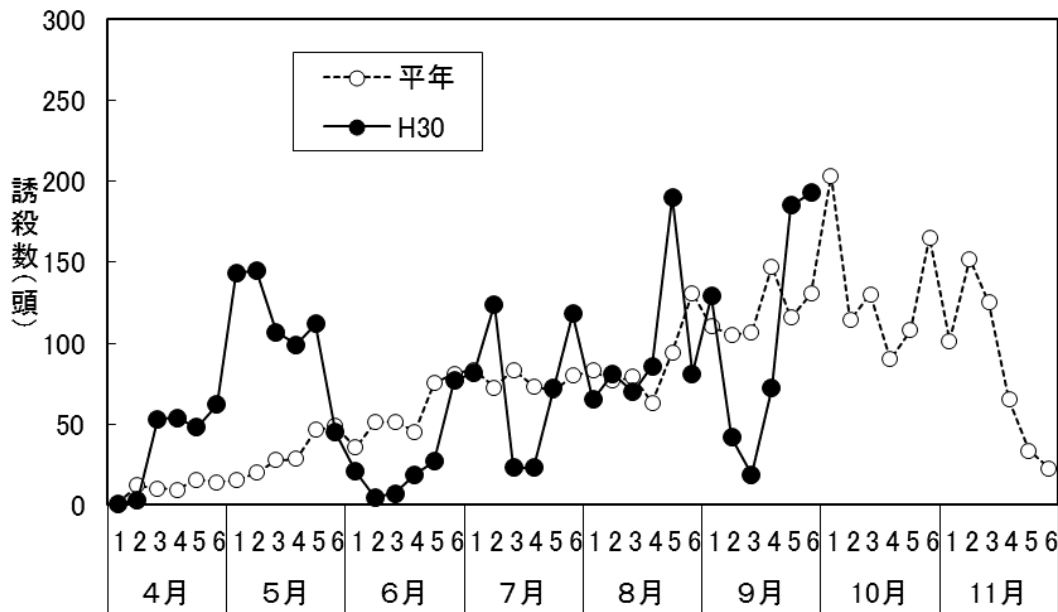


図1 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況 (諫早市小船越) (月・半旬)

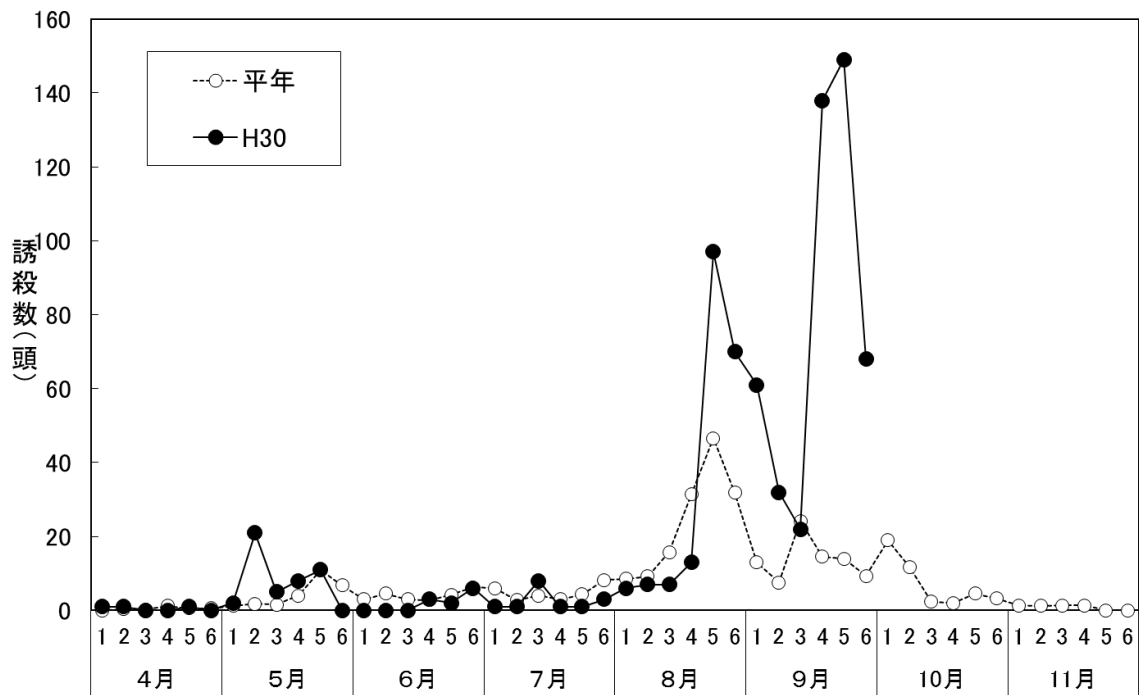


図2 シロイチモジヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市小船越) (月・半旬)

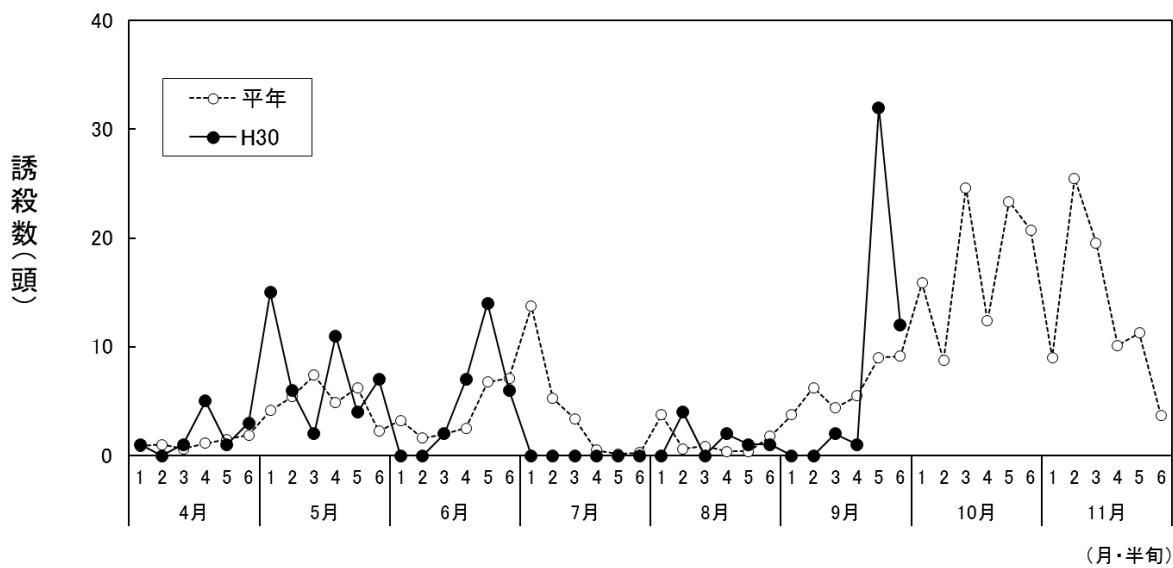


図3 オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市小船越) (月・半旬)

2. 防除対策

- (1) 圃場内の早期発見に努め、卵塊や分散前のふ化幼虫は見つけ次第除去し、適切に処分する。
- (2) 幼虫の寄生や被害が見られたら早急に防除を行う。特にタバコガ類の幼虫が結球内や花蕾部に食入すると、薬剤がかかりにくくなり防除効果が低下するので、早期発見、早期防除に努める。
- (3) 幼虫は齢が進むと薬剤の効果が低下するので若齢幼虫期に防除を行う。
- (4) 薬剤防除に当たっては、使用方法を遵守し、虫体によくかかるよう丁寧に散布する。また、薬剤感受性の低下を防ぐため、系統が異なる薬剤のローテーション散布を行う。
- (5) 施設栽培では施設開口部を防虫ネット（4mm目以下）で被覆すると、成虫の侵入防止に有効である。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

